中2・技術・家庭科(家庭分野)「衣服の選択と手入れ」

(1) 本時のねらい

自分や仲間が家庭で撮影したスナップボタンの使用例の写真を交流することを通して、スナップボタンを使う意義に気付き、手本動画や仲間との学び合いから、きれいで丈夫なスナップボタンを付けることができる。

(2) 本時の展開(10/12)

過程 学習活動 0 前時に、家庭でスナップボタンが付けられている衣服の写真を撮影してくるように伝える。 ◆1生活の中から、付け方のヒントを探す。 1 課題をもつ ・自分の記録データと仲間の記録データから、「スナップボタンはどのような箇所に付けられている のか。」「なぜスナップボタンなのか。」を交流する。 ・失敗例の写真を提示して、きれいで丈夫に付ける必要性を確認する。 ・ボタンでは留めにくいところに、スナップボタンが使われているな。・表に糸が見えていないな。 ・表はきれいだな。・留めるときに、押したり引っ張ったりするから丈夫にしないといけないな。 ・きれいに付けないとしっかりと留めることができないな。 【課題】きれいで丈夫なスナップボタンを付けよう。 ・全体で模型や手本動画を確認し、キーワードを確認する。 玉結びは隠す。 1つの穴に下から1回、2回、3回通す。 一目すくって、隣の穴へ移動。 え 最後はスナップの下を通して、キュッと引っ張る。 表に糸が出ない。 2 個人で考える・班で教え合う ◆2) 観て、聴いて理解できる手本動画の提示。 ・スナップボタンの大きさを3つ用意し、選ばせる。 (基本の大きさ⇒10mm 細かい作業が苦手⇒14mm 細かい作業が得意⇒8mm) ・「一目すくうの意味」や「表と裏の確認」を全体で行い、練習布に凸のスナップボタンを付ける。 ・大きな模型を班に1つ用意し、班の仲間と一緒に触って確認できるようにする。 自分の理解度に応じて、ロイロノートに送信された手本動画を繰り返し確認できるようにする。 教師が机列表に進度をチェックする。 3 中間進度確認 ・班で正しくできているか確認する。ここまでの進度をロイロノートの提出箱を使って行う。 カードの色を分けることで、支援が必要な生徒を教師が把握して指導を行う。 ピンク→全くわからない。 黄色→一部わからないことがある。 青→順調。 ・教師からのアドバイスをもらったり、班で教え合ったりしながら、凸のスナップボタンを付ける。 ・班ごとに凹のスナップが正しく付けてある布を準備し、自分の凸のスナップを留めて確認する。 ・凸のスナップが付け終わった生徒は、凹のスナップも付ける。 4 本時の学習を振り返る ・ロイロノートの学習カードに、振り返りを提出する。・練習布を提出する。 ・記録データと同じようにできた。・難しかったが、きれいで丈夫に完成させることができた。 ・これからは、制服などのスナップボタンが取れても、自分で直すことができそうだ。 自分で補修ができれば、長く使えて環境にも良さそうだな。

「データの活用」に関わって

◆1)日常生活の中から、使用例を写真と して記録したデータ。

・使われている箇所を参考にすることで、 スナップボタンが付けられている意義 について考えさせたい。そこから、理想 的な付け方を自ら導き出させたい。

◆2)観て、聴いて理解できる手本動画の 提示。

・手本動画にキーワードを付けて、「玉結びは隠す。」「1つの穴に下から1回、2回、3回通す。」「一目すくって、隣の穴へ移動。」「最後はスナップの下を通して、キュッと引っ張る。」「表に糸が出ない。」と音(リズム)を使って付け方を確認し、付け方を理解する。

【評価規準】〈知識・技能〉

キーワードを理解しているとともに、練習布に正しく凸のスナップボタンを付けることができる。(①玉止め、玉結びは隠す。②1つの穴に3回糸を通す。③一目すくって、隣の穴へ移動。④表に糸が出ない。)